

23 高気圧酸素治療施設の現況Ⅰ ～装置操作要員の現状～

鈴木尚人¹⁾ 小森恵子²⁾ 右田平八³⁾
西山博司⁴⁾ 日沼吉孝⁵⁾ 山崎功晴⁶⁾

- 1) 敬和会 時計台病院 臨床工学部
- 2) 東海大学医学部付属病院 臨床工学技術科
- 3) 恵愛会 大分中村病院 臨床工学科
- 4) 名古屋大学医学部附属病院 高気圧治療部
- 5) 秋田県立脳血管研究センター 臨床工学室
- 6) 倉敷中央病院 C E サービス室

【目的】本邦での高気圧酸素治療（以下HBOと略す）装置の設置状況は第1種装置887基、第2種装置55基の計942基であり、施設数は732施設となっている。HBOは医師の管理下に臨床工学技士、看護師が操作を行うが全国規模の実態調査の報告は無い。今回我々は、技士のネットワークとITを利用した全国のHBO装置操作要員の实態と管理医、臨床高気圧酸素治療技師（以下認定技師と略す）の配置状況を調査したので報告する。

【方法】全国を北海道、東北・北陸、関東、近畿・中部、中国・四国、九州の6ブロックに分けて各地域の技士が施設検索と情報収集を行いHBO操作要員の分類と業務形態を集計した。

【結果】各地域の管理医と認定技師の配置率は北海道5%：5%、東北・北陸12%：16%、関東16%：12%、近畿・中部15%：25%、中国・四国13%：13%、九州14%：7%であり、HBO総施設数の管理医の割合は19%、認定技師は18%であった。

【考察】管理医、認定技師とも絶対的に不足している事と、HBO装置が多数存在する地域と存在しない地域の格差がある。今回の調査によって管理医不在の治療や操作要員の具体的問題点が明らかとなり、事故防止対策を早急に進めなければならないと危機感を持つに至った。問題解決には地域の枠を取払った意見交換や情報交換等が必要であり具体的にはそれらを集約するために学会内の技術部会の再構築とメーリングリストによる情報発信であると考えられる。

24 高気圧酸素治療施設の現況Ⅱ ～各地域での取組みと展望～

小森恵子¹⁾ 鈴木尚人²⁾ 右田平八³⁾
宇都宮精治郎⁴⁾ 松田範子⁵⁾ 小熊美行⁶⁾

- 1) 東海大学医学部付属病院 臨床工学技術科
- 2) 敬和会 時計台病院 臨床工学部
- 3) 恵愛会 大分中村病院 臨床工学科
- 4) 新別府病院 診療部 臨床工学室
- 5) 日本医科大学付属病院ME部 高圧酸素治療室
- 6) 厚翔会 桜台病院 臨床工学科

【目的】2004年7月現在、日本高気圧環境医学会会員総数は1365名（医師：569名、その他：796名）で、臨床工学技士（以下CE）・看護師ら装置の操作要員は全会員の58.3%を占め、その大半が臨床業務上の問題点を指摘している。そこでCEを中心により安全なHBOを提供するための活動を各地で始めた。今回その活動と現況を報告すると共に、今後の展望を検討した。

【方法】現在活動している九州、関東、北海道の各団体を中心にネットワークにて連携を図り、その現況と今後の展望を集約した。

【結果】九州地区では『高気圧酸素治療セミナー』として各施設の活動報告の他、HBOとそれ以外のCE業務との関連性にも重点を置いて活動している。関東では『日本高気圧環境医学会関東地方会-技術部会』として操作要員を対象とした教育講演・意見交換・アンケート調査に重点を置いて活動している。北海道では『北海道高気圧酸素治療研究会』として技術面の演題発表、医師や熟練技師を招いての質疑応答等を中心に活動を行っている。その他、鹿児島県高気圧研究会、本年2月には岡山県高気圧酸素治療交流会も発足している。

今後の展望として種々の問題に対する統一された見解や対策を講じる事が出来るシステム作りと情報発信が必要とされ、その作業担当部門としての技術部会制定が共通認識である事が明らかになった。

【考察】各団体は活動を通じて地域単位では解決をみない現場の状況や問題が多々ある事を痛感している。技術部会の必要性については昨年盛岡で開かれた地方会検討委員会でも議題とされたがその後活動は停止したままである。今後本学会において技術部会制定が望まれ、制定にあたってはHBOが工学的側面を持ち合わせる医療行為である事からも、CEの参画は必須条項であると考えられる。